



三鈴中学校跡記念碑 除幕式

平成28年11月17日 太陽化学東側に於いて

平成28年11月17日、三鈴中学校跡記念碑の除幕式が行われました。記念碑は、三鈴学校のあった現在の太陽化学株式会社の東側道路に面した場所に建立されました。

同校は、昭和51年3月に水沢中学校とともに現在の西陵中学校に統合され廃校となりましたが、以前に学校のあった場所には、その存在を示すものが何も残されていませんでした。この碑は、「このままでは、三鈴中学校のあったことが忘れ去られてしまう。学校の存在を後世にまで残したい。」と考えた卒業生が3年前から同窓生に寄付を呼びかけて完成したものです。折しも、今年は、同校廃校から40周年の年でした。

碑の正面には、「三鈴中学校跡」の文字と校章、校歌、校舎配置図が刻まれており、裏面には学校の沿革が記されています



- 写真（左上） 記念碑正面
- 写真（右上） 記念碑裏面
- 写真（右） 三鈴中学校校章



式典では、四日市市教育委員会から教育長にご臨席を賜り、各年代の代表者や来賓の皆様約40名が集まって、懐かしい校旗を前に校歌をみんなで歌いました。卒業生（昭和22年～昭和48年卒業）の手で40年ぶりに建てられた記念碑は、これから三鈴中学校の歴史を後世に末長く伝わっていくでしょう。尚、記念碑は四日市市教育委員会に寄贈され、管理されていくことになります。

(三鈴中学校 校歌一番)

朝日がのぼる伊勢の海 三鈴の丘に美しく 港の街を見下ろして
輝きそめるこのいらか あゝ三鈴三鈴わが母校 正義 至誠 明朗の三つの鈴の音はずし

(沿革)

三鈴中学校は、新学制に伴い昭和22年に設立された小山田中学校と久間田中学校を23年7月26日に統合して設立された学校で、昭和25年1月には、校舎が完成し実質的に一つになりました。その後四日市市立となり、昭和51年3月末に西陵中学校に統合されるまでの間に、3790人の卒業生を輩出しています。



写真（左） 記念碑目録の贈呈

写真（下） 式典参加者

